

# 公的機関の強力サポートも得て、 “世界最強のくい”を目指す！

君岡鉄工 株式会社

## 倒産の危機が背中を押した 『くい丸』の商品開発

リユース可能な打ち込み杭『くい丸』で市場を席巻するのが君岡鉄工だ。もともとは、大証一部上場企業の下請けとして、仮設足場のジョイントと筋交いを留めるためのグラビティロックを製造していた。当時、下請け比率は9割。しかも、元請け企業は倒産の危機だと新聞紙上を賑わせた。

「このままでは仕事が無くなり、我が社も倒産の可能性があると感じたんです。新しい仕事を作るなり、見つけていかねば、と考えていました」

それから1年間ほどかけて、試作を繰り返す中、平成5年12月に『くい丸』の試作品が完成した。すると、試作品完成とほぼ同時に元請け企業が倒産した。「すぐに翌1月から『くい丸』の販売を開

始しました。現在は売上の9割以上を『くい丸』の占めています。平成21年度はリーマンショックの影響もあり、順調に伸ばしていた売上高が落ち込みましたが、現在は元に戻りつつあります。平成22年度は過去最高の売上本数・売上高となる見込みです」

## 会社の危機を救ったのは、 社長の職人としての技術力

元請け企業の危機を知らせる報道が流れた後、君岡社長は現有する技術を活用して新しい事業に取り組めないか考えていた。そんな時に思いついたのが、打ち込み杭だった。

「通常、打ち込み杭は単管パイプをそのまま打ち込んだり、先端だけカットした簡素なものでした。そのため、中に土が入り込み、一度打ち込んだら回収せずに

ほぼ使い捨てにしていたんです。これをリユースできないかと考えて生まれたのが『くい丸』でした」

『くい丸』の特長は、一本の単管パイプに特殊な絞り加工と両端金具の全周溶接をすることで、継ぎ目のない一体構造となっている点だ。

「実は、下請けとして磨いた、二つの技術を生かして『くい丸』は生まれました。一つは先々代から受け継ぐ単管の加工技術で、もう一つはベルトコンベアのローラーを製造する仕事です。この仕事には、ローラーの両端を絞る工程があって、絞り加工に技術が必要なんです。『単管パイプ加工+絞り技術』のイメージによって、『くい丸』は生まれたんです。おそらくそれまでの下請加工にこだわっていたのでは、思いつかなかったかもしれないですね」

この先見性や技術力は、君岡社長がモノづくりに長年携わってきたことから培われたものであり、さらに、金型の図面引きから取り組む力を社長自身が備えていたのが大きい。

『くい丸』には、リユースできる、職人が扱いやすいなど、多くの魅力がある。「常に『くい丸』の商品力向上のために改善を重ねています。また、1本からの発注にも対応したり、受注後の配送スピードや発送形状にも工夫しています。これらは従業員の努力や高い意識のおかげで、製品魅力の向上に寄与してくれています」

そんな努力を重ねることで、現在はリユース杭は『くい丸』の独壇場だという。「単管パイプよりも価格は高いのですが、品質には自信があります。実際に杭



発送梱包の方法はスタッフの試行錯誤から生まれた



整然と並ぶ『くい丸』



経営革新認定を受けて建設した倉庫

を使用する現場の職人さんにその良さを認めてもらえているようで、嬉しい限りです」

## 企業力向上をサポートした 奈良県商工会連合会の存在

一流の職人魂を備えた君岡社長も経営面では苦勞していた。そんな時、地元である都祁商工会を通じて、奈良県商工会連合会の吉川氏と出会う。この出会いをきっかけに君岡鉄工は、経営革新や新事業展開において、奈良県商工会連合会の強力なサポートを受けて、売上はもちろん企業力や経営力を向上させていった。「平成17年に経営革新計画の認定を受けました。さらに、ISO取得やカーボンフットプリントなどを通じて、環境に配慮した商品づくりや企業姿勢をアピールしました。こうしたことも認められてか、国土交通省が運用する『公共工事等における新技術活用システム』のデータベース『新技術提供システム (NETIS)』において、Vクラスへの昇格に向けての手続きが進んでいます」

平成20年にはJR東海道新幹線のレールのレベル維持用のための基準杭が、奈良県第1回ビジネス大賞優秀賞を受賞した。

「今後は、グリーン購入法基準対応やエ

コマーク取得等も経営革新の一環として取り組みたいと考えています。『くい丸』を高付加価値商品に育てていきたいですね」

## 事業承継を進め、 将来の海外展開への布石も

社長には3人の息子さんがおり、それぞれに役割を分けて事業承継を進めているが、まだ道半ばだ。

「私の職人としての技術は残念ながら継承できません。それは数年で継承できるものではありませんからね」

長男は製造工場と国内営業を担当し、次男は海外進出を目指して、2010年にドイツやスイスなどヨーロッパ7カ国を視察した。三男は大学院に通いながら、ホームページや製品カタログの制作を担当している。

海外進出については、中小企業基盤整備機構の海外進出窓口なども活用している。まだまだ市場調査の段階で、将来的には海外諸国の鉄道などへの販売を目指しているという。

## “世界最強のくい”を目指して 『くい丸』をさらに発展させる！

奈良県商工会連合会のサポートを受けて作成した第一期経営革新計画では、即

納のための生産体制構築を図り実現した。そして、同じくサポートを受けて作成した第二期経営革新計画ではより広い顧客層への拡販を目指している。

「私としては、『くい丸』を“世界最強のくい”と認知されるように海外進出を目指したいです。まずは来年度にヨーロッパのどこかに『くい丸』を一本立てることが目標ですね」

現在の大きな課題は、『くい丸』を発展させる上で欠かせない存在となる『くい丸システムズ』の拡大だ。

「生産技術や効率化によって競争力を高めていきたい。『くい丸』に代わる新商品を開発するのではなく、『くい丸』の用途を限りなく広げることで売上をアップさせていくつもりです」

新幹線の基準杭に使われたのも、明治神宮の参道柵として使われたのもお客様が使い方を考えてくれたのだ。

「用途はまだ無限大。今後はお客様に教わるばかりじゃなく、我々が『くい丸』の新しい用途をご提案していきたいですね」



鉄道バラスト等の難地盤で特に威力を発揮する『くい丸』

### 君岡鉄工 株式会社

〔住 所〕奈良県奈良市蘭生町780  
〔業 種〕『くい丸』の製造、販売  
〔代 表 者〕代表取締役 君岡誠治  
〔資 本 金〕1,000万円  
〔従業員数〕21名  
〔取 材 日〕平成22年8月23日(月)  
〔取材対象者〕代表取締役 君岡誠治氏

〔沿革〕  
昭和48年2月 創業(大手仮設資材メーカー部材等の下請製造)  
平成6年1月 『くい丸』の製造・販売開始  
平成17年2月 経営革新法認定  
平成17年2月 ISO9001取得  
平成20年4月 奈良県第1回ビジネス大賞(優秀賞)受賞  
平成20年9月 ISO14001取得



代表取締役  
君岡誠治氏